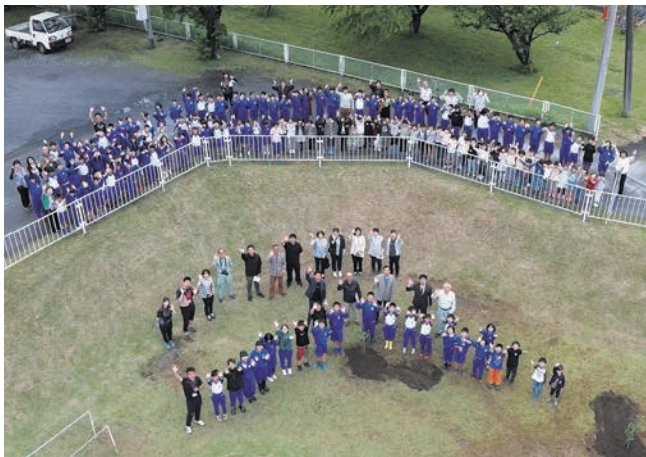


おいしい柿を皆さんに届け続けて 柿生産農家の上田佳幸さんに 市長から感謝状が贈呈

上田さんは、石岡市八郷柿振興協議会の会長を4期8年にわたり務め、石岡市のブランド柿「紫峰煌」の企画立案・立ち上げ・実現など、農産物のブランド力アップに尽力されました。「紫峰煌」は石岡セレクト認証品として選定されるとともに、市のふるさと納税の返礼品にもなり、市内外の消費者から好評を得ています。上田さんは感謝状の贈呈に際し、市からのサポートに対して謝意を述べられるとともに、今後の生産に向けての意欲をお話されました。



▲（写真左より）上田佳幸さん、谷島市長



▲園部小学校の児童と地域の皆さん。当日の朝は雨が降っていましたが、児童の願いが届き、集会時には雨があがりました。

地域の皆さんと歩み続けた学び舎 園部小学校 創立 150 周年を祝おう集会

園部小学校は明治5年の「学制」発布を受けて創設され、6月1日に創立150周年を迎えました。

集会では、学校に隣接している神社の氏子総代から寄贈されたヤマザクラの植樹式が行われ、代表児童が地域の方とともに植樹を行いました。

6年生の西牧来未さんは児童代表あいさつで、園部小学校の沿革を紹介するとともに「園部小学校が大好き。桜の木とともに楽しい思い出をつくりたい」と話してくれました。

市民の安全を守る術を競い、磨く 石岡警察署内 各課対抗逮捕術大会

逮捕術は、警察官が被疑者の取り押さえや制圧逮捕などを行う際に、市民の皆さんの安全を確保する目的で使われます。大会では、徒手と警棒・警杖を用いた試合で6つの課から出場した警察官が対戦し、地域課Aチームが激しい戦いを制して優勝しました。市民を守るために、忙しい職務の合間を縫って日々、逮捕術の向上に努める警察官の皆さん。女性警察官の大坪明日香さんは「市民の皆さんが安心して暮らせるよう、今後も訓練に励んでいきたい」とお話されました。



▲警棒を用いた試合。相手が刃物を持っている場合などを想定し、相手と自分の安全を確保しながら取り押さえを行います。



炎の男たち 自らの限界に挑む 石岡市消防本部引揚救助チーム が関東大会へ出場決定

県内消防本部の精鋭が集う、第51回茨城県消防救助技術大会が6月15日に筑西広域消防本部で開催され、ロープブリッジ救出の部・引揚救助の部に当市代表が出場しました。

各チームの訓練成果が随所にわたり披露される中、八郷消防署引揚救助チームが第2位優秀賞を受賞し、7月18日に千葉県消防学校で開催される、第52回消防救助技術関東地区指導会に茨城県代表として出場することが決定しました。



▲関東地区指導会への出場を決めた八郷消防署引揚救助チーム



▲（前列左から）國谷浩子さん、小松崎典子さん、佐野弘子さん、杉田厚子さん、高橋利子さん
（後列左から）酒井保さん、武川幸江さん、小野原敏三さん、永井敬司さん、藤岡俊昭さん、櫻井美恵子さん、大塚よし美さん
（当日欠席）笹沼美智子さん、平子順一さん

健康づくり・介護予防に貢献 シルバーリハビリ体操指導士 へ感謝状が贈呈

6月17日、永年にわたり地域住民の健康づくりや介護予防の推進に貢献したシルバーリハビリ体操指導士に対し、県から感謝状が贈られました。市からは、知事賞に8名、奨励賞に6名の計14名が受賞しました。

シルバーリハビリ体操指導士は、高齢化が進む中、自らも介護予防に取り組み、互助精神に基づいた活動を行うボランティアの方々。今後ますますの活躍が期待されます。

子どもたちのために 石岡市PTA連絡協議会が 始動しました！

石岡市PTA連絡協議会は、市内各小中学校の緊密な連絡体制の強化とPTA活動の向上を図ることを目的として活動しています。5月8日に開催された総会により、八郷中学校の役員を務める野村禪^{しずか}さんが会長に選任され、令和6年度の新体制がスタートしました。

保護者・学校がそれぞれ連携・協力をし、児童生徒が安心、安全に楽しく学校生活を送れるように活動を進めていきます。



▲（写真左より）菊地喜之副会長、野村禪会長、谷島市長、長谷川孝夫副会長、岩田教育長